

# 学 校 通 信



尼崎市立園和小学校  
令和2年6月号

<http://www.ama-net.ed.jp/school/E40/index.html>

## 学校にしかできない役割を大切に

校長 佐野 正信

緊急事態宣言の解除を受け、街にも少しずつ活気が戻りつつあります。この間、日本中、世界中の危機であるとはいえ、様々な影響を受けられたご家庭もおありだったのではないのでしょうか。心よりお見舞い申し上げます。

さて本校では、5月18日からA・B2つのグループに分けた分散登校を行ってまいりました。大きな目的は、学校再開に向けて不安を持つ子やケアの必要な子を複数の目で見極めること、そして、不安な子の心の中に学校再開が楽しみになる気持ちをふくらませることでした。そのため、できるだ



担任二人体制で見守ります

きょうだいと同じ日に登校できるようグループ分けを工夫しました。また、登校日の前半を1・3組、後半を2・4組と設定することで、ひとつのクラスに二人以上の教員が入り、複数の目で見守る体制をとりました。1年生は、学校めぐりで初めて入る図書室の大きさにビックリしていたようです。



学校めぐりの1年生

短い時間ではありましたが、不安そうにやってきた子が少しでも明るい表情になって帰って行く姿を見て安心すると同時に、学校にしかできない役割と責任の大きさを再認識したところでした。



1年生はランドセルデビュー

帰り道、ピカピカのランドセルを背負った一年生の集団下校に上級生が付き添いながら帰る姿をほほえましく見送りました。子どもたちが帰った後の教室では、担任は、消毒や換気など次のグループを受け入れる準備を進めていました。



消毒作業をする担任教員

ここまでわが国は、一人でも感染すれば学校や会社が止まるという仕組みをつくる等、「他人に迷惑をかけない」という日

本人特有の規範意識に合わせた方法で医療崩壊を防ぎ、コロナ感染を抑え込む施策をとってきました。しかし、その一方では様々なことも生じているようです。

先日、あるお店の店主さんが「ソーシャルバリアが怖い」というお話をされていました。感染症対策をきちん

と行い、お店として自信を持って開店しているのに、「こんな大変な時に、なんで店を開けるのか」という厳しい目（強いバリア）を感じて再び閉店を余儀なくされたとのことでした。

緊急事態宣言が解消し、ここからは「with コロナ」と言われるように、大きく世の中の流れが変わります。人々が動き出す…つまり感染リスクは高まります。もしかして、どれだけ注意をして行動していても、今後、児童や保護者、教職員等の中に感染者が出てくることも十分に考えられます。不幸にもそのような事態になったとしても、私たち園和小学校では、これまでと同様、人を責めたり差別したりすることなく、やさしさと強さをもって人間関係を再び構築していきたいものです。

尼崎市では、6月15日からの学校全面再開に向けて、本日1日より教育活動を再開しました。学業の遅れを取り戻す等の課題はもちろんありますが、まずは子どもたちの心に向き合い、寄り添うことが大切であると考えます。本校では、感染対策として「密閉」「密集」「密接」の重なりを避けつつ、一方では小学校でしかできない価値（協働・共感・共創）を大切にながら、教育活動を段階的に実施してまいります。保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## やさしさとお心遣いに感謝!

「学校の子どもたちと先生を守りたい」と、地域の薬局様から児童と教職員全員分のマスクを提供いただきました。児童に一人一枚持ち帰らせています。使い捨てではなく何度も洗って使えるものなのでご活用くださいとのことでした。そのほかにも保護者の方から子ども用マスクの提供もいただきました。保健室等にて活用させていただきます。お心遣いに心より感謝申し上げます。



## 6月の行事予定

日 曜	行 事
1 月	学校再開
15 月	通常授業 給食開始 (2年生～6年生)
22 月	委員会
25 木	1年生 給食開始 (予定) 学級の日
26 金	地区別集団下校
29 月	職員研修のため、5校時終了後 下校

